

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	環境振動測定分析小委員会	主 査 名：尻無濱 昭三 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：松本 泰尚
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・初年度：2018 年度に刊行された「建築物の振動に関する居住性能評価規準」で評価するための振動測定・分析方法に関して整理し、既存の実測データの分析や共同実験などによる測定・分析を行い、その検証方法などを検討する。また、前小委員会の資料作成 WG による「建築物における環境振動測定・分析に関する資料」についての意見を収集する。 ・2 年度～3 年度：初年度に決めた新基準の検証方法を実施する。具体的には、小委員会として環境振動測定したデータの再分析や新たな環境振動実験を実施し、測定方法、分析方法等について検討を行う。また、新しい知見などは建築学会大会などで公表する。また、測定分析に関する資料に対する意見を整理し、ブラッシュアップする。場合によっては、新たに資料検討 WG を立ち上げる。 ・4 年度：3 年分の活動成果を整理し、評価基準の検証結果も織り込んだ「建築物における環境振動測定・分析に関する資料」の改定版を作成し公開する。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有(1)→石田理永 (新委員)	
	主査：尻無濱昭三 (鉄建建設) 幹事：平光厚雄 (国土技術政策総合研究所)、神谷俊行 (ベネック振動音響研究所) 委員：足立大 (リオン)、石田理永 (石田振動環境研究室)、小谷朋央貴 (フジタ)、佐野泰之 (愛知工業大学)、清水克将 (鉄道総合技術研究所)、田中彩 (鹿島建設)、原田浩之 (三井住友建設)、平松和嗣 (フリーランス)、松田貫 (BL 建設)、森川和彦 (清水建設)、藪下満 (YAB 建築・音響設計)、横島潤紀 (神奈川県)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2019 年度予算	40,000 円	ホームページ公開の有無：有 (運営委員会 HP の一部) 委員会 HP アドレス： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc10-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. なし
講習会	1. なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. なし
大会研究集会	1. なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 予定回数の委員会開催 2. 前小委員会で公表した資料の意見収集・検証等 3. AIJ 大会への投稿・採用
委員会活動の問題点・課題	1. なし

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	1. 年度計画通り、5 回、委員会を開催した。 2. 第 38 回環境振動シンポジウムにおいて、小委員会の成果を 2 題 「内部加振源による振動の測定」、「外部加振源による振動の測定」を報告した。 3. 日本建築学会大会（北陸）において、「鉄道振動の測定」について 1 題投稿して発表した。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。